

## 事業者の対応（【仮称】大手町 1 - 1 計画）

皇居周辺地域の建築物のデザイン協議の一環として、平成 23 年 3 月 2 日に東京都景観審議会計画部会への意見聴取を行い、東京都の見解を事業者に伝えたところ、下記のとおり事業者から対応の方向性を示されました。

## 建築物のデザイン協議事項（【仮称】大手町 1 - 1 計画）

計画部会の意見を踏まえた都の見解	事業者側の対応
<p>以下の、遠景～中景に関わる事柄についてご対応をお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大手門から永代通りにぬける軸性については、大手門交差点の両側の建物が形成する対としての景観が弱いことから、対をより意識できる建築デザインとし軸性を強化するよう、検討すること。</li> <li>・ 内堀通り沿いのスカイラインについては、工作物等による 115m のラインが縦の連続性の強調により概ね 100m の軒高のラインより強い印象を与えているので、後者をより強調したデザインとなるように検討すること。</li> <li>・ 日比谷通り沿いの 31m の表情線については、日比谷通りに面する部分だけで印象が弱すぎることから、周辺建物の表情線との関係を考慮のうえ、北東コーナー部を含めた建物デザインを、より充実するよう検討すること。</li> <li>・ 内堀通り側の建物の色彩計画については、皇居白壁の色や立地の特徴を活かす必要があることから、周辺建物の色彩の傾向だけでなく、皇居の白壁・石垣・緑との関係や大手町・丸の内地区の特性について十分に配慮のうえ検討されたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大手門から見た A 棟外観について、縦庇の強調や色調の明度を下げることにより、周辺建物との一体性を高め、永代通りの軸性を強化する計画とします。また、今後の詳細設計においても、軸性を強化するために、対を意識できるファサードとするよう外装を検討してまいります。 【補足資料 1】</li> <li>・ 工作物等のフレーム形状や位置の見直しを行い、工作物等と建物部分の違いを明確にすることで概ね 100m の軒高のラインを強調する計画とします。 【補足資料 1】</li> <li>・ 原案に対し、日比谷通り側東立面で計画していたデザインの切換えを北及び南立面の 1 スパン分でも合わせて行うことで、日比谷通り沿いの 31m の表情線を立体的に表現する計画とします。 【補足資料 2】</li> <li>・ 色彩計画について、原案に対し明度を下げること、落ち着いた色とし檜の漆喰の白壁などを引き立てる計画とします。 【補足資料 1】</li> </ul>

- |   |  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・内堀通りから街区中央部まで伸びる広場は、大手町地区には少ない特徴ある空間である。皇居や周辺街区などに連なる緑及び歩行者動線のネットワークとしての位置づけを整理したうえで、広場及び広場に面する施設に求められる機能との整合を十分配慮のうえ、計画を検討されたい。</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>・本計画で整備する広場は、国際ビジネスセンターである大手町エリアの就業者の相互交流活動の拠点として整備するとともに、内堀通りを挟んで皇居・お濠に正対するという立地特性を踏まえた空間形成を行います。</li><li>・この広場の緑化計画は、内堀通り沿いの緑の骨格を印象づけるとともに、A・B棟間のスペースを活用し、大手町の森から視覚的に繋がりを意識させる計画とします。また、計画地北側の区道補助158号線沿いの2列植栽との連続性を意識した緑化計画とします。</li><li>・本計画地は、大手町地区の西側端部に位置していることから、内堀通り沿いに広場および交流施設を整備するとともに、交通結節点である大手町拠点からの地上・地下の歩行者通路を設け、広場・交流施設を含む大手町地区西側の利用を促進する計画とします。また、歩行者通路整備とあわせ、歩行者の滞留空間としての広場空間の整備を検討し、大手町地区における歩行者ネットワークの強化および回遊性の向上に寄与します。</li><li>・広場に面した建物低層部に配置する交流施設については、主として就業者を対象とした各種会議、セミナー等の交流活動を実施することを想定しており、広場内にもその交流活動の屋外実施スペースを整備する計画とします。また、この広場には、周辺就業者が交流活動の前後に休憩等を行うことができる、皇居・お濠の緑と水が調和した憩いと潤いのある空間を併設し、水と緑に囲まれた空間に人々が集い交流し、街のコミュニティを生み出す場となるような広場計画を検討してまいります。</li></ul> |
|---|--|

## 【補足資料 1】（内堀通り側の景観形成について）

皇居展望台からのイメージパース。永代通りの軸性、スカイライン、色彩計画の検討。  
（下記はその一例、詳細意匠は今後検討）

### 検討案



※形状及び色調はCGによるイメージのため実際と異なる場合があります

## 【補足資料 2】（日比谷通り沿いの約 31m の表情線）

約 31m の高さを意識した表情線の検討（下記はその一例、詳細意匠は今後検討）

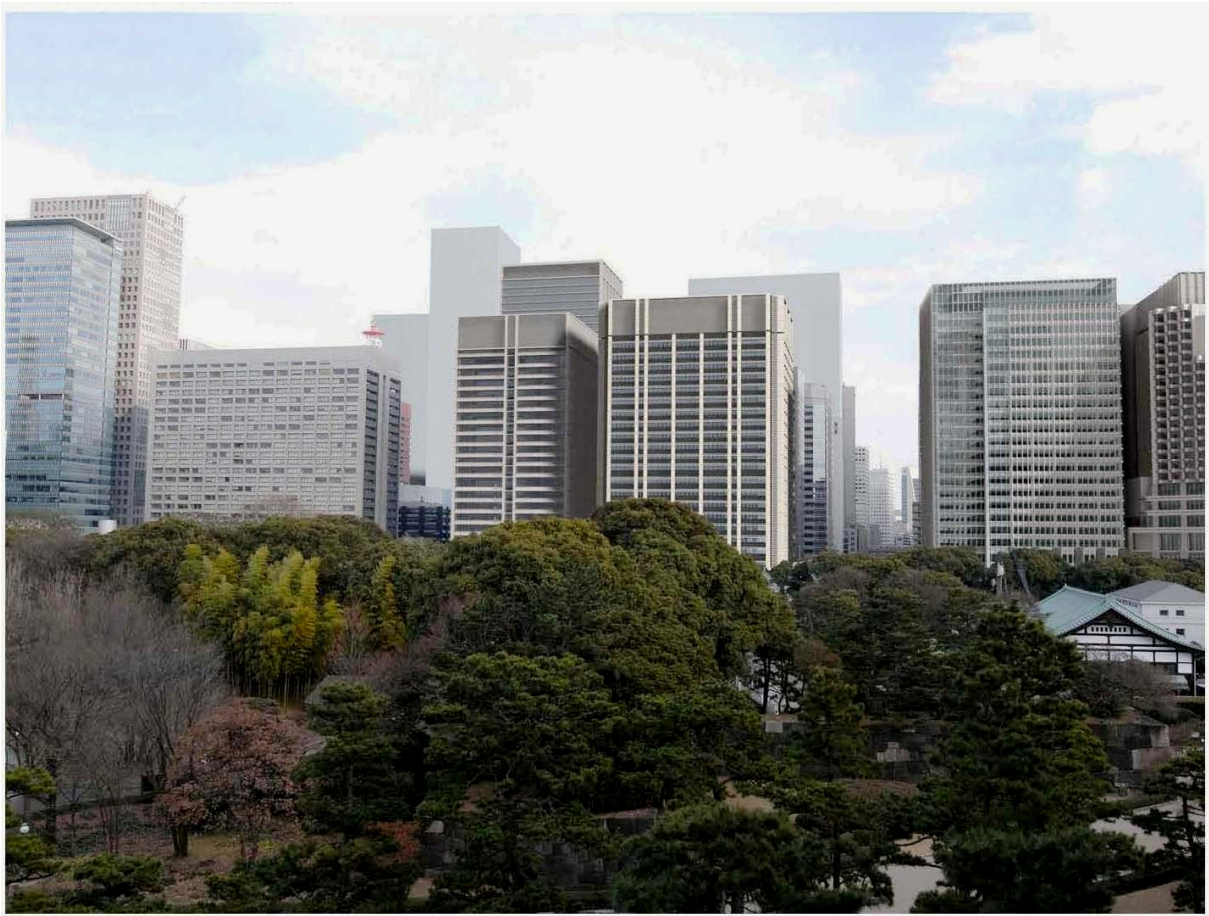
検討案



※形状及び色調はCGによるイメージのため実際と異なる場合があります

## 参考

### 計画部会案



### 検討案

